

平成30年7月8日
中部地方整備局
新丸山ダム工事事務所

出水による工事現場設備の流出について【第五報】

新丸山ダム建設中の転流工事において、平成30年7月6日の梅雨前線豪雨による出水により、工事現場の仮設設備(防音壁)が一部倒壊し流出した恐れがあります。

現在、現場で流木等の除去作業を行いながら確認を行っており、仮設設備の一部を発見しておりますが、作業にはまだ時間を要する見込みです。

また、7日より下流部で巡視を行っていますが、本日12:00現在、仮設設備とみられる流出物は確認されていません。

今後、新たな状況がわかり次第、お知らせいたします。

今後の予定：引き続き、現場の流木等の除去を実施し、仮設設備の確認に努めます。

また、陸路より丸山ダム下流から兼山ダムまで巡回し、流出物の有無について確認を行う予定です。

流出物が確認された場合には流出物の回収に努めます。

倒壊した仮設設備の概要：鋼製壁（高さ7.0m 延長約75m）



- 解禁指定なし
- 配布先 美濃加茂市政記者クラブ 可児記者クラブ
- 問い合わせ先

(新丸山ダム)国土交通省 中部地方整備局 新丸山ダム工事事務所

調査課長 栗山 康弘

電話 0574-43-2780(代表)